

令和 6年 3月11日

足立区立第七中学校
校長 柏木 圭子 様

足立区立第七中学校 開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

昨年度と異なり、今年度は学校公開週間などの機会を活用して、第七中学校の生徒の学校生活の様子を見ることができた。来年度も積極的に生徒の成長を見届けていきたい。

重点的な取組事項―1の学力向上アクションプランについて、学校から授業がわかる、楽しいと感じている生徒が増加したとの説明であったが、保護者のアンケート結果では、授業がわかりやすく工夫されているの問いに対して、肯定的回答が65.1%だったので、さらにわかりやすい授業の実施をお願いしたい。

重点的な取組事項―2豊かな心の育成について、達成感を味わったり、学校生活で自分の役割を考えて行動したりしている生徒が85%以上いることは評価できる。課題にあるように不登校生徒への対応を十分にしていきたい。誰もが安心して生活を送れるように指導をお願いする。

重点的な取組事項―3健やかな身体の育成について、成果として、健康な生活を身に付けようとする態度を育成できたとある。引き続き、指導をお願いしたい。課題として、ゲームやインターネット等のデジタル機器を長時間、使用している生徒もいる。SNSルールを活用し、寝不足による生活態度や学習態度の乱れのないように、さらに取り組んでもらいたい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

生徒からのアンケート結果に「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けている」「思いやりをもって、友人に接している」「学級での居心地が良く、落ち着いて生活できている」など、和やかで明るい学校生活の様子が報告された。校外においても生徒が積極的にあいさつをしてくれるといった意見が開かれた学校づくり協議委員から報告があった。

コロナ禍で生徒の活躍の場面が見られなかったが、今年は多くの地域の方にも生徒の姿を見もらった。来年も地域と学校が連携して、生徒の成長を見守っていきたい。

地域と連携した行事についても、検討を重ね、多くの地域の方が学校を訪れることができるように工夫していただきたい。

3 その他

第七中学校の入学希望者が増えていることは地域としてもありがたい。